


大阪産業大学 研究シーズシート

| | | | |
|----------------------|--|--------|---|
| 研究シーズ テーマ | 足趾把持に関わるトレーニング効果について | |  |
| 分 野 | 健康科学 | | |
| キーワード | 足趾把持筋力、転倒予防、認知機能 | | |
| 研究者名・職位 | 露口亮太・准教授 | | |
| 所 属 | スポーツ健康学部 スポーツ健康学科 | | |
| 研究シーズ概要 | <p>足趾把持に関わるトレーニングは一定の運動効果を得ることができる。足趾、足底による地面の把握作用、姿勢制御の感覚器としての足底メカノレセプターが賦活され、支持性と安全性確保のための足趾把持機能が向上することが推測される。母趾底部には知覚神経終末が多く分布されており、多くのメカノレセプターからの情報が入力されるようになる。また足趾把持に関わるトレーニングは無理なく気軽に安全に行うことができ、転倒予防や認知症予防に繋がる可能性が高く、今後の介護予防分野において新たな方法として臨床的意義は高い。</p> | | |
| 進捗状況 | 着想・構想段階 | 基礎研究段階 | 実証段階 |
| 連携研究の 範囲・方法 | <p>軽費老人ホーム等の施設で、包括的な介入をおこなうことができる。足趾把持に関わるトレーニングを定期的実施する。介入前後には転倒の評価および認知機能を評価し、血液マーカーの変化との関連性を検証する。</p> | | |
| 用途・効果 ・市場 | <p>足趾把持に関わるトレーニングのエビデンスを構築し、介護予防のための効果的な運動プログラムとして確立できれば、将来の認知症予防や転倒予測を通じて、医療介護費の削減に貢献できる可能性がある。</p> | | |
| 研究者の 業績等 | <p>◆Toe grip strength in middle-aged individuals as a risk factor for falls. The Journal of Sports Medicine and Physical Fitness, 58(9):1325-1330, 2018.</p> <p>◆The effects of toe grip training on physical performance and cognitive function of nursing home residents, Journal of Physiological Anthropology, 38(1): 11, 2019 Aug 28.</p> | | |

| | |
|------------|--|
| 連絡先 | <p>大阪産業大学 社会連携・研究推進センター 産業研究所事務室</p> <p>TEL : 072-875-3001 (内線 2816・2819)</p> <p>FAX : 072-875-6551</p> <p>E-mail : sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp</p> |
|------------|--|